

## ●主な活動の記録 (7月～9月)

7月11日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

参加者 21 名の内、7 名は「緑の募金」H27 年度公募事業”頂上展望台眺望・景観を回復し、荒廃した里山林を再生する”の第一回目の活動。展望台西側での除伐作業を一日実施。他は”野鳥の森”植栽地の下草刈り、午後は FV 連「緑の募金 27 年度公募事業である”竹林整備と環境保全”の作業地(国道 308 号沿い)の調査。又数名は、イベント用クラフト材料の準備。終了後開催の定例理事会で下記報告があった。

- 1) ワタミより、活動参加の申込が県を通じあった。
- 2) ”プロジェクト・どんぐり”でこちらから送った苗木が 6 月 6 日開催の”福島ふれあいの森”で実施の植樹で植えられたこと、苗木を育てて頂いた支援者へはその旨の報告を認めた礼状を送付。
- 3) 27 年度申請中の助成事業、決定通知を得た
  - ・「緑の募金」”矢田山頂上展望台の眺望・景観を回復し、荒廃した里山林を再生”  
(7月9日県自然公園課と現地調査をし、除伐予定の木々にマーキングをした)
  - ・ FV 連  
「緑の募金」公募事業”竹林整備と環境保全”  
「緑と水の森林ファンド」”森林ボランティアリーダーの養成と村おこし支援・交流”
- 4) 県主催「山の日・川の日」7月20日イベント参加の手順並びに参加者の確認

7月20日(月) 県野外活動センター 吐山町 クラフト指導

県主催の「山と川の月間」関連イベント、”森林体験山もり・てんこ森”が開催され、当クラブも参加、会場第 3 サイト内コーナーで、ジージーゼミと竹笛づくりを指導した。この日は好天に恵まれ、全来場者 700 名に及ぶ多くがイベントに参加、内 300 名近くの親子づれがひっきりなく当コーナーを訪れて、クラブ員 14 名がほぼマンツーマンで作り方を指導。子供達は早速思い思いに音を楽しんでいた。番外として、クラブ員の手づくりで持ち込んだガリガリトンボをしきりにこすってプロペラを回させていた。用意した材料が出尽くしたので、少し早目に切り上げた。

7月25日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

この日、平成 27 年度「奈良県山と川の月間」の趣旨に鑑み、当クラブは「親子で楽しむ夏休み(竹伐り体験と竹のクラフト)」という協賛イベントを実施。真夏日であったが、クラブ員 23 名が参集、啓発のぼりを揚げ、朝会では本日の活動予定、イベントの説明、班分けを行った。一般参加者 3 家族 9 名に 5 名のクラブ員を当て、他は 13 名が午前中 FV 連「緑の募金」公募事業”竹林整備と環境保全”の作業地で竹伐り、残り 5 名は受付担当、草木染め用具の点検を行った。

イベントの参加者には、竹の花器など出来上がり見本を見てもらい、自分はなにを作るか決め、どの太さ・長さの竹がよいか考えて目的の竹林へ行き、竹伐りをしてそれを軽トラで子ども交流館へ持ち帰った。3 家族は早目の昼食後、12 時半頃から指導者のアドバイスを聞きながらノコなどで手順を進め、それぞれ花器を完成、中々の出来栄であった。その後、5 人の小学生は予め用意した竹笛とまわし棒で「ジージーゼミ」を、竹の輪切りで「かたつむり」等を作って満足そうであった。指導者以外のクラブ員は自分でクラフトをしたり、子供達にアドバイスをした。

8月5日(水) 環境出前講座 鼓坂北バンビーホーム

同ホームでは、今回が三度目となる”森の恵みを楽しむクラフト体験”を児童31名、先生3名が参加して開講。当クラブの活動紹介後、森林環境教育として、”木と人との関わりを考え、ひいては地球温暖化に及ぼす影響を説明。次いで、子供達がお待ちかねのクラフト。4班に分かれ、それぞれに当クラブ員がついてクラフト指導にあたった。サイズの異なる竹の輪切りや木の実・殻をいろいろ組み合わせ、カタツムリや小動物他を一人二三種を次々と作り上げていった。子供達の豊かな創造力で思いもよらないものもあり、中々の出来栄え。後片付け・掃除もよく手伝ってくれた。後日送られてきた好評だったとのアンケートと共に、子供達の”楽しかった”、”又やりたい”とのメッセージが添えられていた。

8月8日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

県「山と川の月間」協賛イベント二回目となる”親子で楽しむ夏休み—竹伐り体験と竹のクラフト”を、5組の親子連れ10名の参加で実施。クラブ員5名が指導について、午前中榊野工務店横での竹伐り作業体験。一部を午後からのクラフト用に子ども交流館へ持ち帰る。午後、まず竹笛を一人一個作り、あと竹の輪切りや、これに木の実をあしらったりしていろいろなものを作った。この日参加した他のクラブ員12名ほどは、FV連「緑の募金」公募事業”竹林整備と環境保全”を国道308号沿いのヒノキ林内に侵入した竹の除伐や枯損木の処理を行い、午後はクラフトに参加。終了後の定例理事会では、下記報告・検討があった。

- ・矢田山遊びの森内でナラ枯れが急速に目立ってきており、これの除伐を県から依頼があるやもしれず、この場合の対応。
- ・県ビューティフルシニアシチズン選出について、クラブとして一名応募するよう勧める。
- ・奈良市地球温暖化防止対策地域協議会の”環境出前講座”実施につき、申し込みから 実施報告書提出までの流れの説明。
- ・「緑の募金」公募事業、助成決定のあった事業に対する実施スケジュールの検討
- ・年末最後の定例活動日が休館日にあたるため、12月23日(水・祝日)に前倒しする。

8月22日(土) 定例活動 矢田山遊びの森

下記の三手に分かれての活動。

### 1) 除伐

頂上展望台の眺望・景観回復のため、眺望を障害する高木5本を6名で除伐。今回の作業で、生駒側の山並みの眺望はほぼ確保出来た。

### 2) 草木染め

女性4名と、おためし入会の女子大生一名が久し振りに草木染めを行った。

今回は料理体験館近くに自生する雑草、ブナ草(発色は黄色)、スオウ(赤)、クサギの実(青)を染料とし、ミョウバンを媒染に、木綿のスカーフに染付けた。いずれも淡く爽やかな発色で、初体験の女子大生も大いに満足。

### 3) 草刈り

男子10名程は、”野鳥の森”植栽地での下草刈りを実施。

終礼の際、この日去る6月28日病死された、故日月理事宅へ弔問に伺った鈴木理事長と辰巳会計よりの報告を受け、全員で冥福を祈り黙祷を捧げ解散。

8月23日(日) クラフト指導と自然観察 二上山ふたかみ公園

県「山と川の月間」協賛イベントとして、県中部農林振興事務所が同公園で開催された”森の学校”で、当クラブ員5名がクラフト指導と自然観察会の案内にあたった。

開催時期が例年の盆休みより、遅かったせいか出足は鈍かったが、23組の親子連れが参加。まずは森林クイズにパネルを見ながら挑戦し、順次竹笛・ジージーゼミや、木や竹の輪切りに木の実・殻などを組合せての作品作り上げた。この間希望者が午前・午後一回づつの森林観察に参加。頂上までの往復約一時間ばかりの道のりで観察を実施。

#### 9月12日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

参加者19名、内6名は「緑の募金」公募事業、頂上展望台眺望景観回復事業としての伐木。前回の作業で展望台から西側、生駒の山並みがよく見通せるようになり、今回は近くにあるヤマザクラの古木の周りの5本を伐倒し、整理したため来春のサクラ見物が楽しみ。他のメンバーは午前中”野鳥の森”植栽地での下草刈り、午後は子ども交流館横の生垣の剪定と周辺の草取りを実施。

同日午後、登美ヶ丘南公民館での地域住民に対する環境出前講座のため、講師とし辰巳森林インストラクターを派遣し、地球温暖化問題を中心に講義。間に竹のクラフトで置き物づくりを指導。

#### 9月26日（土） 定例活動 矢田山遊びの森

学校の運動会シーズンもあってか本日の参加者16名とやや少なめ。午前中は、FV連「緑の募金」公募事業に参加。国道308号沿いの環境保全の竹林整備作業で竹の除伐。合わせいくつかの枯損木の処理。

午後は矢田山遊びの森入口に立つモニュメント付近のさつきの剪定とまわりの草刈り。

終了後の理事会下記報告・決定があった。

- ・中部農林振興事務所より、同所が参加される”かしはらエコフェスタ 2015”でのクラフトの指導者の派遣要請を受け、4名の人選
  - ・ボランティア団体”高畑自然教室”より竹の利活用の実例知るため、当クラブが10月28日実施の東市小学校学童保育所での環境出前講座に代表者が見学を希望
  - ・「緑の募金」公募事業の平成26年度事業報告書並びに平成27年度の事業実施要領の内容検討
  - ・イベント開催計画の検討
- 一般参加者公募により

11月14日（土）草木染め体験（染材は、びわの葉・クリのいが・コブナグサを予定）

12月23日（祝）竹伐り体験とミニ門松づくり、もちつき

- ・会計より、期末（9月）向けての決算仮締め数値の報告

#### 9月30日（水） 平城京跡特別保存地区（奈良阪） 草刈り

奈良市地球温暖化対策地域協議会との共催で、10月3日同地でイベント—環境体験講座”里山の森林整備と森の恵みを楽しむ会”開催に向けて、会場の環境整備のための草刈りと枯損木の処理を実施。

スズメバチの活動が活発になる季節となり、注意を払いながらの作業。早速一匹が飛来。

#### ＝ 訃 報 ＝

日月英昭理事かねて療養中のところ、6月28日逝去されました。  
（享年75歳）当クラブ創設以来の会員で、長年森林インストラクターとして、自然観察ではその豊富な知識による解説、加えてクラフト指導でも大いに活躍されました。又この会報も初刊から28号までご担当頂きました。ご冥福をお祈りいたします。